

【スポーツ大会の結果】

■グラウンドゴルフ大会

【団体の部】

- 1位：立神フレンド2組
- 2位：立神フレンド1組
- 3位：田畑A

【個人の部】

- 1位：諏訪ミイ子 2位：茶屋耕作
- 3位：畑野勝男



■キンボール大会

- 1位：始良スポーツクラブ
- 2位：立神バドミントンB
- 3位：立神バドミントンA



「コミュニティスポーツクラブ 枕崎きばらん海クラブ」主催による「コミュニティスポーツ エスタガ2月11日、総合体育館とグラウンドで開催されました。スポーツ大会では、グラウンドゴルフに76チーム389人がキンボールには18チーム96人が参加し、それぞれの競技で爽やかな汗を流しました。

午後からは、元マラソンランナーの松野明美さんによる講演会が行われ、小柄ながらハイタリティーある走りそのままのトニックで会場を盛り上げました。オリンピックでの裏話や選手時

軽快に、楽しく、松野明美さんが講演

代のつらい思い出などのほか、11歳の頃初めて長距離を走ったとき、両親の応援に感動したというエピソードから、子どもたちのやる気を引き出させることの大事さを熱く語りました。

『枕崎きばらん海クラブ』
まもなく会員募集！
4月から本格的にスポーツ教室を実施します。詳しくは本誌折り込みチラシをご覧ください。
問合せ 枕崎きばらん海クラブ事務局 (保健体育課内)
TEL720170

コミュニティスポーツフェスタ2008



■全国に誇る「枕崎ぶえん鯉」
「枕崎ぶえん鯉」は、魚価の低迷や燃料費の高騰など、厳しい環境にさらされる遠洋カツオ一本釣り漁業の現状を打破するため、B1カツオの付加価値を高めようと試行錯誤を重ねて開発し、3年前の平成17年3月、初めて枕崎港に水揚げされました。この「枕崎ぶえん鯉」は、一本釣りしたカツオを船上にて活き締めしたあと急速冷凍したもので、弾力性のあるモチモチとした新食感の歯ごたえと、生臭さのないさわやかな味が特徴です。

全国初の洋活き締め一本釣りカツオということもあって、県内外多くのメディアに取り上げられ、華しくデビューを飾り、その後、品質の良さが評価され、平成17年に農林水産大臣賞を、平成18年には内閣総理大臣賞を受賞しました。

枕崎市漁協「チームぶえん」が奔走

■「チームぶえん」の取り組み
この枕崎の新たな特産品を、さらに普及拡大させるため、昨年2月、市漁協内にPR活動を行うプロジェクトチーム「チームぶえん」が設置されました。このチームは、漁協一丸となった取り組みとすべく、漁協内の様々な部署の職員12名によって構成されています。

チーム発足後、県内外を問わず、各種イベントでの試食会を開催し、知名度向上のため地道に取り組んだほか、食育活動の推進、昨年10月開催の「枕崎ぶえん祭り」の運営の中心となるなど、積極的に活動しています。

また、ぶえん鯉のテーマソング「歌になった枕崎ぶえん鯉」や「ぶえん鯉ジャンパー」の作成など様々なPR活動に取り組み、さらにJ・R九州「佐賀vs鹿児島キャンペーン」のE1ス級食材に指定されるという追い風

「枕崎ぶえん鯉」の普及拡大へ

にも乗り、「枕崎ぶえん鯉」の名が一気に広がりました。

▼チームのメンバーである林吾郎さん(左写真真右から2番目)は、「私たちが、枕崎の基幹産業である一本釣りカツオの魚価の安定と新たな消費拡大を目指していますが、それだけでなく、料飲業組合や旅館業組合、「枕崎の食を考える会」などと一緒に、枕崎の食文化を高めていきたい。また、多くの市民の方に「枕崎ぶえん鯉」を使った料理を食べてもらいたい。それが市内の飲食店だけでなく、市全体を活性化させることにつながると思います」と、市内での消費拡大を切望していました。

皆さんは、もう「枕崎ぶえん鯉」料理を味わってみたいでしょうか。まだの方もそうでない方もぜひ、市内の飲食店に足を運んでみてください。



▲「チームぶえん」のメンバー。ブログ「チームぶえん奮闘記」もご覧ください。
<http://blog.livedoor.jp/buenkatuo/>

「枕崎ぶえん鯉」スタンプラリー



■現在、枕崎市漁協と料飲業組合、旅館業組合の協賛でスタンプラリーを実施しています。市内の飲食店・ホテルなど21店が作る「枕崎ぶえん鯉」を使った様々な料理を楽しんでみてはいかがでしょうか。3月いっぱいとなっていますので、お早めに。

■スタンプラリーについての詳しい内容は「枕崎ぶえん鯉ホームページ」(<http://buenkatuo.makurazaki.net/>)をご覧ください。

第62回県民体育大会 川辺大会開催に向けて



大会シンボルマーク
デザイン 枕崎高等学校 鳥居晴子教諭

■第50回記念「かがやき県体」から12年。平成20年度は、川辺地区で県民体育大会が開催されます。そこで、本地区においては昨年9月に第62回県民体育大会川辺大会地区準備委員会設立総会を開催し、本委員会の会長には川野信男南さつま市長が就任しました。また、南薩教育事務所内に本事務局を設置し、開催基本構想に基づきその準備を進めているところです。

今回、本大会のシンボルマーク及びキャッチフレーズ等が決まりましたのでお知らせします。

■大会期日
9月20日(土)・21日(日)
(19日(金)ゴルフ競技)

■大会キャッチフレーズ
かがやき県体2008

■大会スローガン
翔べ 南薩の海と緑と太陽に
大会スローガンのもと、ここ南薩の地で全ての人が躍動する大会としていきたい。

※「海 東シナ海」「緑 お茶」「太陽 燦々と照らす美しい太陽と、南薩の特色を示す。